

掛川市立西山口小学校

平成30年度 我が校のものがたり

子どもの実態

学校評価より

項目	H29	H28
授業の内容が分かる。	92%	92%
人の話を目と耳を向けて聴いている。	96%	94%
進んで自分の考えを発表したり話し合ったりしている。	84%	80%

成果

- 昨年度より、「進んで自分の考えを発表したり話し合ったりしている。」項目が4%近く上昇している。
- 「授業の内容が分かる」の数値が高い。
- 主体的に授業に参加している。

課題

- ▲授業に参加をしているのか曖昧な児童が見られる。
- ▲発言をする児童がいつも固定的になっている実態がある。
- ▲相手の言葉に対しての受けとめ方が弱く、対話がつながっていない。

研修テーマ

「きき合い 学び合う授業」

研修の取組

「やってみたい！」学習問題の設定

子どもたちが「やってみたい!」「考えたい!」と主体的に問題解決に取り組める学習問題を設定します。課題や問いに対する活動を焦点化することで、全員が考えをもち深い学びに向かう対話につなげます。

きく活動を取り入れた学び合いの場の設定

追究場面の中で、2つのきく（「聴く」「訊く」）場面を取り入れていくことで、対話しながら学び合い、思いを受けとめ思いを伝える子を育てます。授業者は、「何を対話させるのか」を明確にし、いくつかの観点から考える材料を用意します。さらに、授業の中でどのように子ども同士を「つなぎ」「もどす」のかを意識しながら、授業展開を構想していきます。

メンターチーム研修

メンター（教職経験5～10年）が、メンティ（経験の浅い教員）の仕事や諸活動を支援します。経験の浅い教員同士が、気軽に悩みや困っていることを話し合い、同じような課題を共有することで、自分たちなりの解決の方法を考え、自己解決力を身に付けていきます。また、ベテランの先生を講師に招き、様々な教育課題に対応するための研修を企画実践していきます。

特色ある学力向上への取組

外国語活動

西山口小の3good を大切にしています

- ① Good Smile (えがお)
- ② Good Voice (大きな声)
- ③ Good Reaction (身ぶり・手ぶり)



「ふりかえりカード」を使用し、3つの項目ができたかどうか確認をし、子どもたちが意識して取り組めるようにしています。

Story time の導入

絵本を購入し、読み聞かせを推進しています。

外国語教材を内容ごとに揃えて、どの学年も使用できるようにしています。

ALT・学年間の打合せを大切にしています。



情報教育

ICT機器の活用、問題発見・解決能力の基盤の育成

- ・「情報の収集や選択、共有する」「図や表で自分の考えを分かりやすく伝える」「学習の確実な定着」等、児童の様々な学習場面においてICTを効果的に活用します。

言語活動や体験活動におけるICT機器の基本的な操作の習得

- ・本年度タブレットを導入し、写真や動画、話合いのまとめ等、必要に応じて情報手段を活用することができるようにします。

読書指導

読書活動の充実

- ・朝活動での読書
- ・年間100冊を目標に、読書の記録をカードに記入
- ・毎月家庭での親子読書

図書ボランティアの協力

- ・朝活動での読み聞かせ
- ・全校読み聞かせ
- ・本の受け入れ、装備
- ・掲示や図書の整理

家庭学習

家庭学習カードには、本読みカードの要素に加え、「家読」「親子読書」「わが家の家庭学習ものがたり」、掛東学園で取り組んでいる「わんわんわん」の要素を取り入れ、子どもたちの学習面・生活面の基礎力を支えていきます。

本年度eライブラリーに本格的に取り組む予定です。講師を招いて研修を行い、家庭へ周知するなど家庭学習の充実を図ります。

目指す姿

主体的に問題解決に取り組み、身に付けさせたい力を付けた子
対話しながら学び合い、思いを受けとめ思いを伝える子